

アンケート自由意見集計結果

(1). 記入状況

回答記入数 226 通 : 市民のアンケート回収数 852 通に対し 26.5%に当たります。

(2). 意見分類一覧

回答いただいたご意見を下記のように分類しました。

主な分野	件数
みどり・自然環境 (みどりの創出、自然環境保全 等)	18 件
新エネルギー (新エネルギー利用、新エネルギー利用高度設備 等)	10 件
エココンパクトシティ (エココンパクトシティの推進)	1 件
交通機関 (公共交通機関の利便性向上、インフラ整備 等)	39 件
資源・ごみ (エコバック利用、ごみ分類 等)	17 件
環境教育等	26 件
情報発信 (地球温暖化問題のメカニズム、市の取組 等)	44 件
規制・指導 (事業所を対象とした規制 等)	5 件
経済的支援 (助成金制度、エコポイント 等)	22 件
税金・資金 (税負担、利用方法 等)	19 件
市に求める姿 (積極性、取組に対する意見・要望 等)	35 件
地球温暖化対策のあり方 (地球温暖化問題・対策に対する意見)	23 件
取組・決意 (市民の取組と、今後の対策に対する決意)	13 件

(3). 意見詳細

ご意見の概要は次の通りです。

分類	主な意見	件数
みどり・自然環境	・ 学校跡地など街中に公園などを整備して、もっと緑を増やしてほしい。 ・ 高松市中心部には駐車場が増え、空洞化が進んでいるが、緑を増やしより住みやすい高松市を目指してほしい。 ・ 公共施設（学校等も含む）に緑のカーテンをもっと増やしてほしい。 ・ ビルの屋上緑化に関しては東京などと比較して意識が薄いのではと感じる。マンションなどについては、建設・大規模修繕の際などに、一定の補助をして屋上緑化を進めるべきではないかと思う。 ・ 地産地消、緑化、農業の推進。 ・ 自然環境の保全に努力し、植林を推進するなど、林業、農業に力を入れるような対策をしてほしい。 ・ 町が寂れているので緑を増やしてみてもどうか。ガーデニング推進のための補助金があるといいと思う。	18

分類	主な意見	件数
新エネルギー	・ 「もし、石油がなくなったら」ということを考えて、太陽光発電と太陽熱の利用を呼び掛けてほしい。 ・ 大量に電気を消費する商用施設等は太陽光発電などを積極的に利用してほしい。 ・ 公共施設への積極的な太陽光システムを始めとする自然エネルギー等の導入。 ・ 太陽光発電は不経済。CO₂削減が目的であれば原発の推進、また高速増殖炉「もんじゅ」の稼働を早くしたほうがよいと思う。	10

分類	主な意見	件数
エココンパクトシティ	・ 市街地を再開発し、現在の田舎開発をやめ、街に人を戻す運動をすべき。商店街の活性化。街ですべて揃えば車は必要としない。	1

分類	主な意見	件数
交通機関	・ 高松市内の交通システムを見直してほしい。 例：琴電の市内高架化、地下鉄の導入、路面電車の導入等 ・ 公共機関が市内だけではなく市内近辺周辺までバスの運用をお願いしたい。例：春日町付近までとか郷東橋付近 ・ 電車やバスなど交通機関は路線を見直すべき。公共交通機関が利用したくても、路線がなければ利用できない。バス代も高いので、利用が進まないのだと思う。空のバスを走らせるのも無駄に思える。 ・ 交通アクセスが未発達だと温暖化対策の当市への期待はさしたる効果がないと思わざるを得ない。 ・ 通勤通学の時間帯に、電車に自転車と同車できる車両を導入すれば車で街に出掛けることが少なくなるのではないか。 ・ 高松市の空気をきれいにするために LRT は必要である。高松市もドイツのように美しく整備された街になったら幸せだと思う。 ・ 自転車利用を促進するため、駐輪場の拡大を行う。 ・ 自転車先進自治体としてモデル都市になるようにインフラ整備を積極的に進めていてもらいたい。自転車専用道路の建設。(通勤時に実際に役立つもの。) ・ 電動アシスト自転車にも補助金が欲しい。 ・ 市の中心部に入る車に通行税をかけるとよいと思う。 ・ 高速道路の無料化は絶対にしてはならない。CO2 削減に努めるのであれば矛盾している。これ以上自動車保有者の利便性は考えない方がいい。 ・ エコカー減税の推進および車自体の値段を下げる。 ・ 街に週一回歩行者天国を作してほしい。	39

分類	主な意見	件数
資源・ごみ	・ 市の収集ごみ袋の「特小」「小」は、大型ごみと同じように、スーパーマーケットの買い物レジ袋にシールを張って代用すべき。 ・ ゴミの分別をもう少し浸透させてほしい。 ・ スーパー袋をすべて有料化してほしい。そうすれば皆エコバックを持参すると思う。また、有料化した場合紙袋にすべき。高松市のごみ袋は薄いため、もっと丈夫な biodegradable の袋にしてほしい。 ・ マイバックの人をあまり見かけない。徹底してはどうか。 ・ お金をかけずに温暖化防止をするにはエコバックを持ち歩くことから始めることだと思う。 ・ 資源ごみの有効な回収方法を考えてほしい。 ドイツを例に挙げると、スーパーにペットボトル&カンのリサイクル機械が設置されており、買い物に行った際に、ペットボトルや缶を持参し回収機器に入れると現金としてその店で使える券が発行される。誰もゴミを捨てない。	17

分類	主な意見	件数
環境教育等	・ 大人になって生活様式が贅沢になってからでは、後戻りするのは難しい部分がある。子供のうちから教育の一環として教えていくことが大切だと思う。 ・ 小学校の教育カリキュラムの中に地球温暖化問題に関する事を義務付けして環境教育をすべき。 ・ 家庭で、親から子供に出来ることから教えていくことも必要。 ・ 行政が果たす役割は大きい。しかしそれ以前に市民の意識が変わっておらず、ここが変わらなければ何も変わらない。市民個人々の環境に対する意識を高めることが重要。 ・ 各コミュニティー等で温暖化防止講習会等を開き、具体的に分かりやすく、各家庭一人一人がどのようにすれば防止できるかということを教え、理解してもらう。 ・ シンポジウムや講習会、また表彰制度等は、限られたわずかな人たちだけが参加しており、温暖化対策に反映されるとは思えない。学校、事業所等での地道な環境教育を推進すべきだと思う。 ・ 県、市が行うべきことは、市民への省エネを積極的に押し進めた社会の礎を築く教育だと思う。 ・ 営利目的とした施設（賃貸住宅、借家、店舗等）など、事業所に地球温暖化防止を呼び掛ける。	26

分類	主な意見	件数
情報発信	・ 市の取組についてまだまだ発信が弱いように思う。市の取組を、もっと多くの高松市民が知らなければ、活動していても意味がない。 ・ 市が温暖化防止の活動をしていることを、市民が知り、さらに興味を持ってもらうことが大切である。 ・ 地球温暖化防止の為に市民が行動すべき具体的な取組や、「どれだけの効果が出ています」という効果について積極的に情報公開をお願いしたい。 ・ 個人、家庭で出来る省エネ、温暖化防止を図解を入れて、親子で話し合えるような簡単な内容のパンフレット等を各家庭に配ってほしい。 ・ 何%CO₂を減らすという数値目標だけではなく、対策の効果について事例を提供していただきたい。 ・ 具体的な影響や被害、現在の状況が続くと子供や次世代にどのような影響が出てくるのか教えてほしい。 ・ 地球温暖化に関する正しい情報を解説していただきたい。（例：地球温暖化はCO₂が原因ではないという曖昧な説に対する解説など） ・ 企業の中まで一人一人に情報が伝わるようにしていただき、そうすると一人一人の意識が変わってくると思う。	44

分類	主な意見	件数
規制・指導	・ 自然破壊につながる民間企業の監視、指導、取り締まりを行ってほしい。 ・ 大型商業施設やコンビニが年中営業していたり、夜遅くまで営業していることに疑問を感じる。便利であることはよく分かるが、深夜の客は少なく早く締めてもいいのではないかと思う。一定の日数、時間を決め、規制をし、課税してでも減らしてほしい。 ・ 企業が製造する製品にも基準値等を設定してはどうか ・ 工場など CO₂ をたくさん排出していると思われる場所へ指導をしてほしい。	5

分類	主な意見	件数
経済的支援	・ 以前太陽光発電設備を検討したが、コスト高で設置に至らなかった。メーカーにコストを引き下げよう要請したいと思うし、国や市、県からの助成金がもっとあれば再検討したいと思っている。コストが下がれば普及すると思う。 ・ 太陽光発電については最初の負担が大きいので、初めの投資をなくしたり、安心な業者を紹介したりしてほしい。さらに買取制度を充実させるなど、信頼できる確約があればよいと思う。 ・ 風力発電等も助成金の対象にする。 ・ 電気自動車の普及に市、県が補助金負担をしたらどうか。 ・ 努力して電気、ガス、水道などの使用量を削減した者には、金券でキャッシュバックしたりすると、取組が盛んになると思う。 ・ 省エネ家電等に助成金制度（エコポイント）を続けてほしい。	22

分類	主な意見	件数
税金・資金	・ 「地球環境」のためなら進んで税負担などを行うが、環境対策への明確な使用法や金額、成果などを保障して少しでも目に見える情報として提供してほしい。 ・ 高速道路を利用する車に環境税を導入する。 ・ 地球温暖化防止の取組は大切なことだと思うが、税金を使って効果があるか曖昧では困る。 ・ 施策を実行できるような財源をどう確保するかということが大きな課題だと思う。 ・ 地球温暖化防止は非常に大事なことだと理解、努力はしているが、これ以上環境税として増税されるのは心配であり、反対だ。 ・ むやみに税金を使うのではなく、お金の掛からない温暖化防止を実行して欲しい。まず市が節税を実行して欲しい。	19

分類	主な意見	件数
市に求める姿	・ 各種会合で地球温暖化の現状を報告、各個人が理解できるように説明し、公務員自身が実行してほしい。 ・ 市の取組も単に該当する部署（他にもエコカーなどあると思いますが）に限らず職員に徹底した意識改革を行うことが市民にも浸透していくことにもつながるのではないかと。 ・ 全公務員は出勤に自家用車を使用禁止にする。 ・ 全公用車のエコカー導入、全公共施設の太陽光発電システム導入。 ・ 行政そのものの CO₂削減の具体策や数値目標はあるのか。行政（国、市町村、県）は市民へ活動を促すだけでなく、模範となり 25%以上の削減をするべき。 ・ 市の取組の中には、役所的な発想で投資に対する効果を考えて実行しているとは思えないものもある。キャンペーンの実施などは外注して効果測定をするべきだと思う。 ・ 全国に先駆け地球温暖化防止に関する積極的取組をお願いしたい。（いいと思うことはスピードを持って取り組んでほしい。） ・ 情報提供や展示会の開催等は、実施したと言う自己満足はあるだろうが温暖化対策にはなかなか結びつきにくい。県民が実施して効果が現れて初めて行ったことの意味があるので、小さなことからでもいいから県民皆が参加できることから始めてほしい。 ・ 市の方向性を他県や国と合わせてほしい。市独特の取組だけでは PR 活動も含めすべてが中途半端に終わってしまう恐れがある。 ・ 役所等の数々の無駄をなくし、まずは基本的な事から行う。計画した事は必ず実行して、順次レベルを上げていってほしい。 ・ 他人の力を組織化するのは県、市の力であり能力である。行政の責任を見る。	35

分類	主な意見	件数
地球温暖化対策 のあり方	・ 問題の原因、メカニズムをよく（反対意見も含め）検討することが第一だと考える。「地球温暖化」批判の錦の御旗となっている現状に大変疑問を感じているので、安易な政策を行う前に、よくよく最先端の事実をご確認いただきたい。 ・ 安易に市民の人的努力に頼るべきではない。家庭にいる人だからと言ってただ働きさせてよいというものではない。社会全体の向上を考えた時にもっと重要なことがあると思う。 ・ 国が世界に向けて CO₂25%削減を明言してしまった以上、やらなければ世界からの信用問題になると思う。 ・ テレビや新聞などマスコミで報道されるたびに「何かおかしい。」と感じながらも「遠いどこかのこと」「遠くのできごと」として、具体的な行動に結び付いていない。市民一人一人、事業者、市が連携して一層身近な問題として取り組む必要がある。 ・ 政府のマニフェストには無理、矛盾があると思う。経済不況時に国民にかなりの負担を強いるのは問題であり、企業は潤うだろうが不平等である。高速道路無料化も CO₂が増え、J Rやフェリーが経営難になる等矛盾がある。一部の企業が潤う事のない公平な施策をお願いしたい。 ・ テレビ等のマスコミの不法なる報道はやめてほしい。 ・ 理想とする数値が高すぎてもハードルが高いと意欲ダウン、長続きしないのではないかな。 ・ 温暖化防止は一人一人の考え方が非常に大切だと思う。将来を担う子供たちのために、何をするかもう一度考え直したいと痛感している。 ・ 消費・需要の限りなき拡大、グローバル主義の経済優先社会は地球温暖化等の環境破壊を止めることは難しいのではないかな。 ・ CO₂を排出しない企業の誘致。また、地球温暖化防止できる他分野での研究、開発への支援。	23

分類	主な意見	件数
取組・決意	・ 買い物にはエコバックを持って行っている。 ・ IH クッキングヒーターを使っている。 ・ 近場なら自転車や徒歩で行くように心がけている。 ・ （アンケートを通して）日頃、自分が環境問題についてどう考え行動しているのかが再度分かり、地球温暖化防止を自分なりに進めていかなくてはと思った。日常生活の中でまずは省エネルギー・省資源を目指したい。 ・ 一人一人が気をつけることが大切。頑張りましょう！ ・ 出来る範囲で今後も自分なりの“エコ”を進めていくつもりだ。 ・ ぜひ一丸となって目標達成しましょう。 ・ 自分に出来ることから実行し、我々だけではなく子供、孫にも教えていけたらと思う。まず私から一歩踏み出したい。 ・ 他人ごとではなく各家庭、各個人が最善を尽くしていくことが大切である。努力していきたい。	13